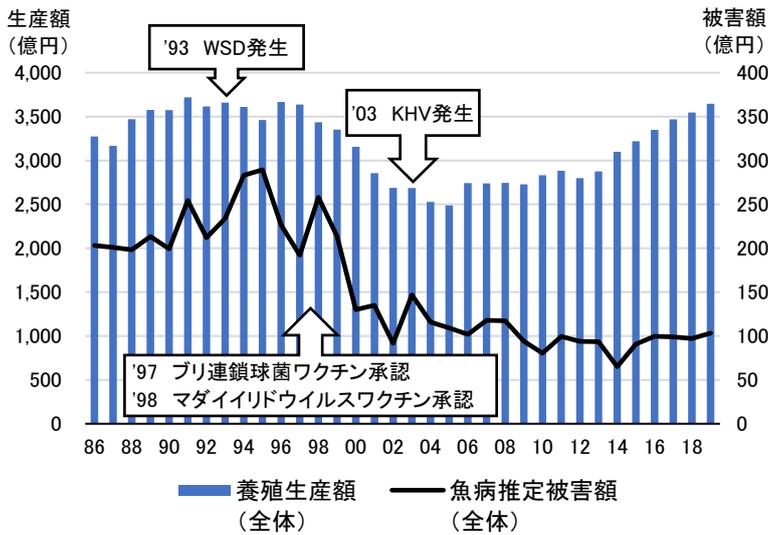


# 魚病被害の発生状況

## 1. 魚病被害の発生状況の推移（全体）

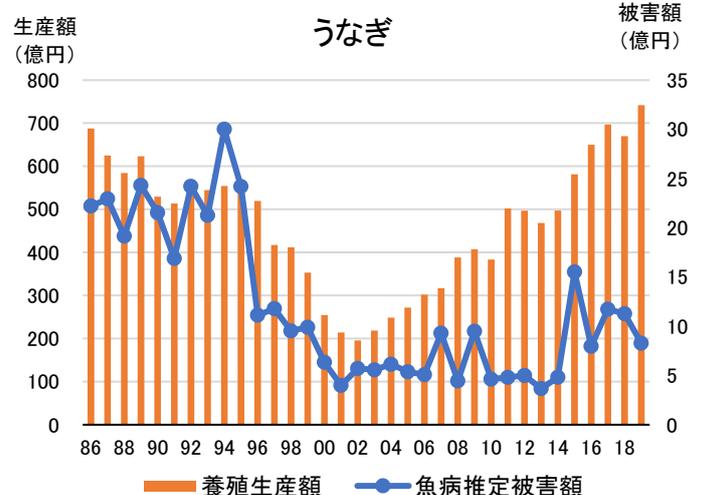
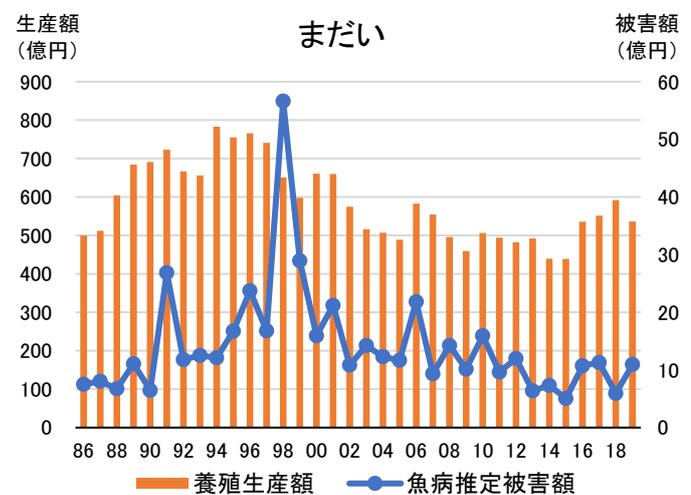
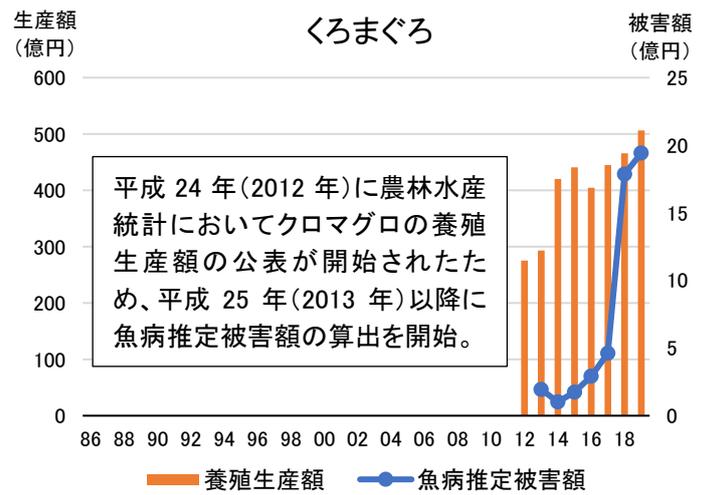
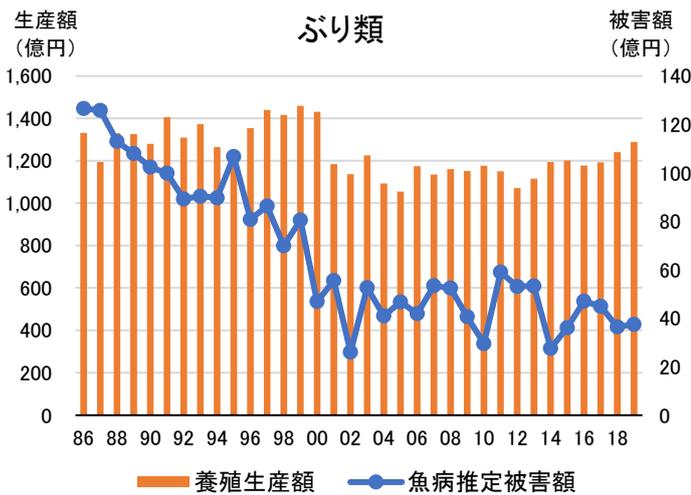


令和元年(2019年)の魚病推定被害額は、全体としては前年(約97億円)から約103億円(推定値)に増加。

このうち、ぶり類、まだい、くろまぐろ、ぎんざけ、ふぐ類、しまあじ、あゆ等で増加し、うなぎ、くるまえび、にじます以外のます類等で減少した。

※ 生産額及び魚病推定被害額(全体)：海面は、ぶり類、まだい、くろまぐろ、ぎんざけ、ふぐ類、くるまえび、しまあじ、ひらめ、まあじ及びその他の魚類、内水面は、うなぎ、こい、あゆ、にじます及びにじます以外のます類の合計。

## 2. 主要魚種における魚病被害の発生状況の推移



注) 1 養殖業者へのアンケート調査のデータに基づき作成。

2 魚病推定被害額は、「(農林水産統計による生産額÷調査経営体の生産額)×調査経営体の被害額」によって算出。